

東海地震の予知の現状 10月22日

昨年末から、今年の8月から東海地震の発生の可能性が急速に高まってくると予想して警鐘活動を続けてまいりました。

8月頃からの大型台風が引き金になって東海地震の発生する可能性が非常に高い、と出てきました。

ことしは太平洋で海水温が上る、大規模なエルニーニョ現象が発生し、大型台風の発生も多かったのですが、東海地方に影響をあたえるような大型台風はありませんでした。

今回の台風24号、25号にも注目していたのですが、日本本土に近づくことなく消滅してゆくようです。

6月の深発地震の増加、6月末の箱根山群発地震、8月末の御前崎の群発地震など、東海地震の前兆と思われる現象も発生したのですが、その後の顕著な前兆現象は確認できていません。

10月も半ばを過ぎ、今後の大型台風の発生の可能性も少なくなってきました。東海地震が今年に発生する可能性が少なくなってきたのでは、と思うようになってきました。もちろん、大型台風だけが東海地震発生の引き金をひくわけではなく、阪神大震災や東日本大震災のように、強い寒気の流入も大型地震の引き金になります。

今後、東海地震の発生の可能性が無くなったわけではありませんが、その可能性が8月や9月よりも低くなってきたと判断しています。

静岡県の多くの経営者の方々に、
8月に東海地震の発生の可能性が非常に高い、と判断して、
警鐘のFAX通信を何度もお送りいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

平成27年10月22日 明日香地震気象研究所 松本安生